

しゃぎょう
「社協」は、みなさんの参加とささえあいで、地域福祉をすすめる福祉団体です。



編集・発行 一季刊

社会福祉法人
横須賀市
社会福祉協議会
〒238-0041
横須賀市本町 2-1
TEL.046-821-1301
FAX.046-827-0264



城ヶ島からのぞむ富士山 油彩 有川 義明 作

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、良き新年をお迎えのことと存じます。

本会においても、新年を迎え、気持ちも新たに、皆様とともに、職員一同力を合わせ、横須賀の地域福祉をますます前に進めていく年にしていきたいと考えています。

新しい年、「龍」の水を得るがごとく、皆様にとりましても、良い1年となりますことを祈念申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

社会福祉法人
横須賀市社会福祉協議会
会長 永妻 和子

赤い羽根共同募金 ご協力ありがとうございました



～全国共通テーマ～

自分の町を良くするしくみ。

人は、誰もが“住み慣れた町で、安心・安全に暮らしたい”と願っています。

共同募金は、地域福祉を更に進めるために、寄付者はもちろん、民生委員児童委員をはじめ社会福祉推進委員、町内会・自治会、ボランティア団体など、たくさんの方々に支えられて実施しています。

お預かりした寄付金は、民間の社会福祉施設や団体の事業費、社会福祉協議会が行う様々な活動費、また、大規模災害時の被災地支援活動など、多岐にわたって広く活用されます。

今年は、コロナ禍での共同募金活動から、少しずつですが、従来の募金活動の姿を取り戻し始めています。横須賀市の共同募金の大半を占める戸別募金は、地域の皆様のご協力により実施することができました。

また、10月1日(日)から7日間にわたって実施した街頭募金は、前年を大きく上回り、100万円を超えるご寄付をいただくとともに、企業・団体、施設、学校など市内の職域・学校募金にもご協力いただきました。皆様のご協力に改めてお礼申し上げます。



『よこすか社協だより』は、みなさまからの賛助会費ならびに共同募金配分金を財源として発行しています。



“地域の力”で高齢者や障害者を支える



第13期

よこすか市民後見人養成研修 開講しました!

社協だより7月号で受講者を募集した養成研修に、約50人もの受講申し込みをいただき、8月23日に開講しました。

研修は総合福祉会館の会議室で実施していますが、ご自宅などでも受講していただけるように、令和3年度(第11期)から、インターネットで同時配信しています。市民後見人としての活動を目指す方だけではなく、親族の後見人になる予定があったり、自分や家族の将来のために学んでおきたいという40歳代前半から91歳まで様々な方が、在宅ワークや家事等の合間に受講されています。

市民後見人としての活動を目指す方は、小論文、効果測定、面接による選考を経て、令和6年3月中旬に全カリキュラムを修了します。そして、令和6年4月1日に「よこすか市民後見人」として名簿登録され、後見人等として裁判所から選任される『デビューの日』を待ちます。

最高裁判所事務総局家庭局がまとめた令和4年1月～12月の概況によると、国内における成年

後見関係事件の申立件数39,719件のうち、市民後見人が後見人等として選任されたのは271件(約0.8%)で、このうち6件は、よこすか市民後見人が後見人等として選任されており、全国の他市町村と比較して、市民後見人の活動が非常に活発に行われています。

市内で活動しているよこすか市民後見人は、平成19年度の事業開始から現在までに延77件の受任実績があり、令和5年10月末現在31件を受任中です。

引き続きよこすか市民後見人の活躍に期待していただくとともに、皆さんもぜひ、来年度以降の市民後見人養成研修を受講してみませんか?

成年後見制度や市民後見人の活動にご興味がありましたら、お気軽に市社協あんしんセンター(TEL821-3605)へお問い合わせください。



「成年後見制度」の講師
弁護士 駒田英隆先生



熱心に聴講中の受講者



「民法」の講師
弁護士 生田秀先生



グループワーク中の受講者

中高年のための体験授業に参加してみませんか。

受講生
募集中

FUJITSU
オープンカレッジパートナー

スマホ教室

富士通オープンカレッジ横須賀校

TEL 046-838-0402

【主催】株式会社アド・マインド

楽しく学べて脳のトレーニング。イキイキ人生を。

よこすかボランティアセンター

場所 〒238-0041 横須賀市本町2-1 総合福祉会館2階
開所 月～金曜日 8時30分～17時15分
 〈土・日曜日と祝日は休み〉
電話 821-1303・825-0017 / **FAX** 824-8110
E-mail shakyo-v@abox22.so-net.ne.jp
ホームページアドレス <http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/vc/>



「令和5年度当事者組織化助成金事業助成金」 交付決定のご報告

令和5年4月に公募した令和5年度当事者組織化助成金事業助成金交付団体が決定しました。

「手話ベリ傾聴ボランティア」

活動紹介

- (1) 高齢ろう者宅での傾聴活動
- (2) 外出可能な方を対象に手話ベリカフェの活動
- (3) 傾聴ボランティアの周知活動
- (4) 傾聴スキルの向上に向けた学習会活動

市社協では助成金を交付し、この団体の活動を支援していきます。



「おにのまとあて」



「ちいざな魔女のキッチン」

*登録ボランティア
布おもちゃグループ
"ポケット"、製作

令和5年度ボランティア養成講座

「精神保健福祉ボランティア養成講座」

※詳細が決まり次第、**ホームページ**でお知らせします。

開催予定



「よこすか愛しているかい？」 知れば知るほど楽しい横須賀散歩

横須賀を代表する観光地である三笠公園に隣接したマンション街というイメージの小川町ですが、その成り立ちは、三浦郡大津村(現在の横須賀市大津町)出身で、幕末から明治期の横須賀のリーダー的な存在であった小川茂周(しげちか)が、明治11年(1878年)に初代三浦郡長に就任し、横浜・東京への旅客の玄関口を確保するため、白浜だったところを埋め立てて港をつくることを主唱して、明治15年(1882年)に完成させたことに始まります。

その貢献によって、生まれた港町は小川港、その地域は小川町と名付けられました。その後、小川港は長く活用された港でしたが、更なる発展のため、昭和44年の横須賀新港整備計画により完全に埋め立

てられ、現在のマンションが立ち並ぶ景観に生まれ変わったのです。

当時を知る方は、入り江に小型船舶やヨットがたくさん停泊していた光景を思い出すのではないのでしょうか。

現在の小川町は、マンション街のほか市役所、郵便局など公共施設一帯であることから「通過する町、という印象が強いですが、町内には新しいマンションやホテル、隣りの新港町には令和4年10月にリニューアルオープンした「いちご横須賀ポートマーケット」があり、人の流れの変化に期待が高まります。



小川町の壮観なマンション街

「よこすか歴史の交差点」

おいかわこうへい(執筆) / 齋藤秀一(監修)

*「よこすか歴史の交差点」は、歴史愛好家たちを中心に市民が集うサークルです。*歴史には諸説あります
 【訂正とお詫び】本シリーズにおいて、№175(令和5年4月号)「逸見」以降、掲載番号に誤りがありました。お詫びして訂正します。

vol.13「小川町」の由来



QRコードで売り上げアップ!
独自のアプローチで集客アップ!

企画 印刷 デザイン(Graphic・Web)

〒239-0835 神奈川県横須賀市佐原1丁目5-16
TEL.046-838-0555(代) FAX.046-834-3331



詳細はこちらから

株式会社 アド・マインド

E-mail: toiawase@admind.jp

URL: <https://admind.jp>

賛助会員のご紹介

☆加入方法☆

お名前とご住所を、電話・はがき・FAX・Eメール等でお伝えください。かながわ信用金庫と湘南信用金庫の振込用紙を送付させていただきます。(郵便振替の振込先は必ず振込手数料が無料になります)

★個人会員 一口 1,000円 ★団体会員 一口 5,000円
〒238-0041 横須賀市本町2-1 総合福祉会館2階
横須賀市社会福祉協議会 総務課
TEL (821) 1301 FAX (827) 0264
E-mail yokosuka-shakyo@yokosuka-shakyo.or.jp

会員は年度会員(4月~3月) 口座は何口でも結構です。

令和5年9月1日~11月30日(順不同・敬称略)

<個人>(85人)

江藤智子、山岸幸子、横須賀市民生局健康部管理職会、横須賀市民生局こども家庭支援センター管理職会、瀧野勤、瀧野英子、芳賀久雄、徳永淑子、高木進、飯野雄彦、山本壽美子、山本まゆ美、平野昌弘、平野徳子、濱田千入、濱田陽介、濱田愛子、濱田大輔、濱田由香里、岸岳、岸里帆、岸美千代、清水君子、栗田敏彦、泉田桂子、嘉山征勝、富澤明、白井幸江、小藤田洋子、白鳥和夫、浅野みつ江、安部恵子、松本幸子、小澤日子、小野みゆき、原田あい子、三富淳子、石田直美、鈴木勉、小知和三千雄、沼田あゆみ、香崎園弓、本間玉子、宮本隆和、宮本和子、匿名

<団体>(2団体)

(資)石塚商店、(一財)シティサポートよこすか

社協活動応援団 賛助で参上!



お気軽にご相談ください 秘密厳守

※場所はいずれも総合福祉会館2階です。相談日が祝日に当たる日はお休みとさせていただきます。また、12時~13時はお昼休みとさせていただきます。

生活福祉資金貸付相談

所得の低い世帯、高齢者や障害のある方の世帯を対象に、安定した生活を送ることができるよう資金貸付の相談を行っています。

【資金について】

- ①お困りの内容によって資金の種類が異なります(一般生活費の貸付けはありません)。
- ②資金の種類によって民生委員による相談援助が行われます。
- ③原則として連帯保証人が必要です(市内在住の方)。

【予約制】お越しいただく前に必ず電話でご連絡ください。

- 月~金曜日 9時~11時30分・13時~16時
予約は TEL 8 2 1 - 1 3 0 1
地域福祉課 生活福祉資金担当

住宅改造相談

ちょっとした工夫や改造をすることで、暮らしやすい家になることができます。

障害者や高齢者のより住みやすい環境をつくるために、神奈川県建築士事務所協会の建築士が相談に応じます。

【予約制】お越しいただく前に必ず電話でご連絡ください。

- 毎月第4水曜日 10時~15時 市社協相談室
予約は TEL 8 2 3 - 0 3 8 6
神奈川県建築士事務所協会横須賀支部



ありがとう

社会福祉のために、温かい寄付がありました。(敬称略)
令和5年9月1日~11月30日

(株)根岸工務店、山本壽美子、山田宏、観音崎ウクレスターズ、玉井歌謡塾(玉井明)

寄付金 5件 81,071円

手話サークル逸見、松本圭子、コール・アルカディア、手話ダンスグループ「ゆらぎ」、手話サークル逸見、本町老人デイサービスセンター、逸見群読の会、横須賀市里親会、青木千賀子、臼井弘子、大津地区社会福祉協議会、社会福祉法人あまねあまね支援センター、わたぼうし佐原、匿名

物品 19件

あ と が き

40年以上前の話である。大学時代に麻雀を覚え、ほとんど毎日麻雀をしていた時期がある。他に3人必要なので、友だちもみんな暇だったのかもしれない。のんびりとした良き時代だった。

社会人になってから、最初は仕事帰りに同期生と週1回ほど卓を囲んでいたが、そのうち結婚や各々の仕事で忙しくなり、後輩たちは麻雀よりも1人でできるゲームに熱中する時代となって、自然と麻雀をしなくなつた。

定年退職後、時間が出来たので、高齢者を中心に流行っている「健康麻雀」に参加するようになった。「お金を賭けない。お酒を飲まない。煙草を吸わない」ということをモットーとし、頭の体操や地域のコミュニケーションの場づくりを目的として全国的に行われている。全国健康福祉祭(ねんりんピック)の種目の1つにもなっている。

週1回、公民館の会議室を借りて、16人ほどが集い、約5時間、半荘*4回の麻雀をしている。私よりも年配の方々、70歳代の人が多い。女性が半数を占めている。若い頃、うす暗い麻雀店で、煙草をもくもくさせながら

ら、目を血走らせた男たちが徹夜麻雀をしている雰囲気はまったくない。何しろ、会場は公共施設である。女性の華やかな声が充満している。

平成31年2月に、「全日本健康麻雀選手権」が文部科学省の後援で、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された。私は地域の代表として参加したが、高齢者だけではなく、高校生や大学生の男女も参加していた。総勢132人の選手宣誓は、16歳の女子高校生2人が行った。隔世の感を禁じ得なかった。

私が麻雀を覚えた頃は、阿佐田哲也さんの「麻雀放浪記」が世に出ていたので、むさぼるようにして読んだ。今のプロ雀士がどう考えているかはわからないが、「麻雀は運10の遊び、運のやりとりをうまくするのが技術」という阿佐田さんの言葉を私は今でも信じている。

半荘1回で少なくとも8度は運のやりとりを行う。その時、己の持つ運のストーリーを上手に捉える力が必要となる。運が上昇している時は、直線的に手を進めれば良い。運が傾きかけた時は、工夫して迂回しながら手を進める。麻雀は私たちの人生に似ているところがあるかもしれない。

*半荘(はんちゃん):麻雀のゲーム単位の一つ。

(H)

年金のお受け取りは「かなしん」へ



かながわ信用金庫

かなしん

ねんきん定期500
好評お取扱い中!

詳しくはこちら▼

